

令和6年度地域福祉コーディネーター事業等の具体的取組（抜粋）

令和6年4月1日
調布市社会福祉協議会
地域福祉推進課 地域支援係

I 相談支援

1 個別支援に対する対応

地域へのアウトリーチを通して、潜在的な支援ニーズの早期把握に加えて、複雑化・複合化した支援ニーズに対して、多機関と連携・協働しながら包括的に受け止め、課題解決に向けて支援を行う。また、支援を通じて、福祉分野の専門機関・団体だけでなく、それ以外の分野の支援関係機関等との連携強化を図る。

2 重層的支援体制整備事業の実施

福祉総務課、調布市社会福祉協議会及び支援関係機関等とともに、「多機関協働事業」における支援会議及び重層的支援会議を実施する。

また「包括的相談支援事業」「参加支援事業」「地域づくり事業」「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」に対する地域福祉コーディネーターとしての効果的な役割を検討する。

3 福祉圏域別専門職等ネットワーク会議

専門職同士の顔の見える関係づくり及び地域情報の共有、相談支援に対する共通認識の構築を通して、円滑な連携ができる環境づくりや複雑化・複雑化した支援ニーズに対する連携体制の強化を図る。

4 支援関係機関等との情報交換及び連携会議

支援関係機関等と地域福祉コーディネーターの役割等の共有、各機関が抱える相談ニーズ及び支援対応における課題等の共有を行い、より強固な連携体制を目指す。

II 参加支援

1 生きづらさプロジェクト

令和元年度より、ひきこもりプロジェクトとして進めてきた家族会や当事者会、女子会等との関わりを継続し、当事者やその家族の声や思い、主体性を大切にしながら伴走支援を行う。また、令和6年度より生きづらさプロジェクトとして拡大し、年代ごとにニーズが異なる不登校やひきこもりの課題に対して、世代別のニーズの把握を行う。また、LGBTQや文

化・言語の違い，見た目ではわかりにくい病気・障がいで悩む方などへのアプローチを強化し，当事者とともに多様性を認め合う社会への理解啓発と，当事者のニーズに合わせた取組への支援を行う。

2 企業との連携及び企業への働きかけ

子どもや子育て家庭向けの自己肯定感の向上及び子育て負担の軽減につながる取組や啓発活動に対して，企業の強みを生かした地域貢献ニーズとのマッチングを行う。また，子どもから高齢者までの多様な地域生活課題等へ対応するため，地域住民と専門機関，企業等が一体的に協働し，多様な主体の強みが発揮される地域づくりを行う。

Ⅲ 地域づくり

1 地域住民との協働（地域支援）

当事者や地域住民等による地域活動や団体の立ち上げ支援や運営支援を通して，地域生活課題の把握や担い手づくりとともに地域福祉コーディネーターの啓発を行う。また相談の受け皿機能となるよう活動者へ働きかけを行う。

2 第6次調布市地域福祉活動計画推進

調布市地域福祉計画と連携を図りながら，8つの福祉圏域ごとに地域住民等とともに，地域の想いや特性を大切に，地域づくりに取り組む。

また市全域において，身近な地域には顕在化しにくい社会課題に対する取組や地域活動を充実させるための仕組みづくりについて地域住民等とともに進める。また，社協内他部署や各福祉分野の支援関係機関等が把握する個別課題ニーズを共有し，地域の中で解決する活動や取組，仕組みづくりへ反映させ，計画の推進を図る。

3 地域福祉ファシリテーター養成講座

ルーテル学院大学と他市との連携により，地域福祉推進の担い手づくりを行う。また調布における地域福祉ファシリテーターとしての役割や目的の検討を行い，フォローアップへつなげる。

4 地域づくり事業

地域福祉ファシリテーター養成講座修了生とともに，調布市における地域生活課題や既存の社会資源の把握を行う。また地域住民に対しての働きかけ及び福祉啓発を目的とした講座等を，講座修了生による企画立案・運営で実施する。

世代や属性を超えた交流ができる地域の居場所づくりへの支援を行う。